

# ふるさと創世 (住み良い町にくらしの工夫)

## 実践項目

校区公民館

- 一、あいさつ運動
- 一、明るい地域づくり
- 一、子供達に夢と誇りを

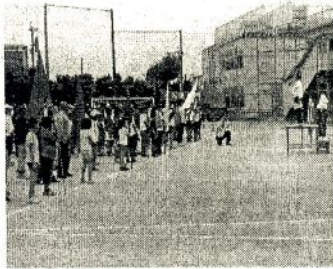


第142号  
平成23年11月25日  
田迎校区公民館  
館長 東 旭  
編集委員  
喜濃 宣友 吉住 久江  
重安 和弘 西 朝徳  
☎378-5878  
編集責任 吉野元生

### 年を重ねて35回

### 町民大運動会開催される

平成二十三年十月二日(日)第35回田迎校区町民大運動会が田迎小学校の運動場で実施された。昨年度は開始早々に雨となり中止となった。今回は二年越しの開催となる。天気は薄曇りもりで気温も最適で風もなく運動会には最高の日和となった。はじめに「校区の皆様の健康増進と親睦と融和を図り、健康で明るいまちづくりをすすめる、お互いを絆で結び、楽しい会にしましょう」との挨拶が、大会会長の石原体協長があつて競技が始められた。



最初の競技は「ゆつくりはしれ」である。これは、準備運動を兼ねていて、参加者全員が運動場を一周するのである。

午後には最後に行われた町内男女選抜による町内対抗リレーで会場は興奮のうずうすに包まれた。結局、男女共に三町内が優勝した。しかし、総合優勝は一町内となり優勝旗を代表が受け取り大運動会は無事終了した。最後に楽しい抽選会があり、自転車一台が当選者に渡されていた。



引きつづいて、公民館関係の「輪になって走ろう」の競技から本格的に開始された。午前中での「こまでおいで」の町内幼児の競走では例年に比べて出場者が多く、田迎校区の就学児の子どもが増加しているのが分つた。今後も田迎小の児童は増加する事であろう。特に午前の最後の競技の小学生男女選抜町内対抗リレーは運動場一杯に町内の旗が振られ、大興奮の中で行われ、運動場一杯に喚声が響きわたった。

### 第二回ゴルフコンペで

### 交流楽しむ

十一月二日(水)、第二回町民ゴルフコンペが熊本南力ントリクラブにて行われた。当日は薄曇りもりになるも絶好のゴルフ日和となり町民三十一名が参加した。



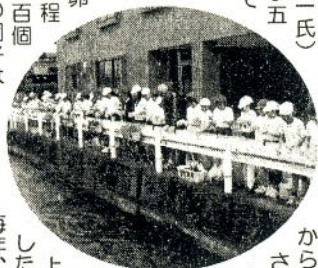
主催者の石原体協長がこのコンペを通して、若い方々のお互いの絆をゴルフを通して作ってほしいとの挨拶があつたあと、世話係の高本浩光氏から、ルールの確認が行われて、アウト、インに別れてゴルフを行った。

緑に囲まれた自然の中で参加者は思い思いにボールを打つ。あちこちで「ナイスショット」とか「わあー」との声が聞かれて、本当に楽しいゴルフが行われた。ゴルフ終了後は、田迎公民館に於いて、表彰式と参

加者の懇親会が行われた。田迎公民館に五時半に集合した会員は、自分が何位になったのか興味津々である。それは表彰のルールがダブルペリアのためである。会長の挨拶のあと、成績発表があり、優勝は園田一広氏であった。二位は吉野氏、三位は中島氏であった。表彰式のあと、懇親会にはいる。初対面の人も同じ「ゴルフ」というものを通して、すぐに仲よくなり、あ

### 二の井手をきれいに がんばる子ども達も

十月二十六日(内)、田迎小に於いてEM団子づくりが行われた。参加者はまちづくり委員会(会長前田昇一氏)約三十名と田迎小五年生百七十三名である。



前田会長の団子づくりの説明のあと、児童達の手によって、団子づくりが行われた。卵をやや大きくした程度の団子を約千四百個を作り上げた。この団子は二週間程、乾かして、児童達の手によって、二の井手用水路に投入する事になっている。

十一月十日(内)、雨きみの日であったが、まちづくりの会員は二の井手を午後一時から清掃した。清掃された二の井手用水に、児童達は東病院前、村上歯科前、ストアコスモス前、清水電気前四ヶ所でEM活性液散布と作り上げた団子を投入した。

毎年、田迎小五年生によって、この作業は行われていて、二の井手用水はきれいになって来ている。



十月六日(内)午後九時から出仲間公民館前に於いて、まちづくり委員会によって花苗の植栽が行われた。これは、まちづくり委員会の「花の輪運動の一環」として実施されているものである。

今回植えられた花苗は「なでしこ」である。その数は九百本である。

ちこちで話の輪ができた。今回のゴルフによって新しい絆が生まれて、今後町内の各活動において、役に立つ事であろう。ちなみに参加者の最高齢者は八十才であった。